

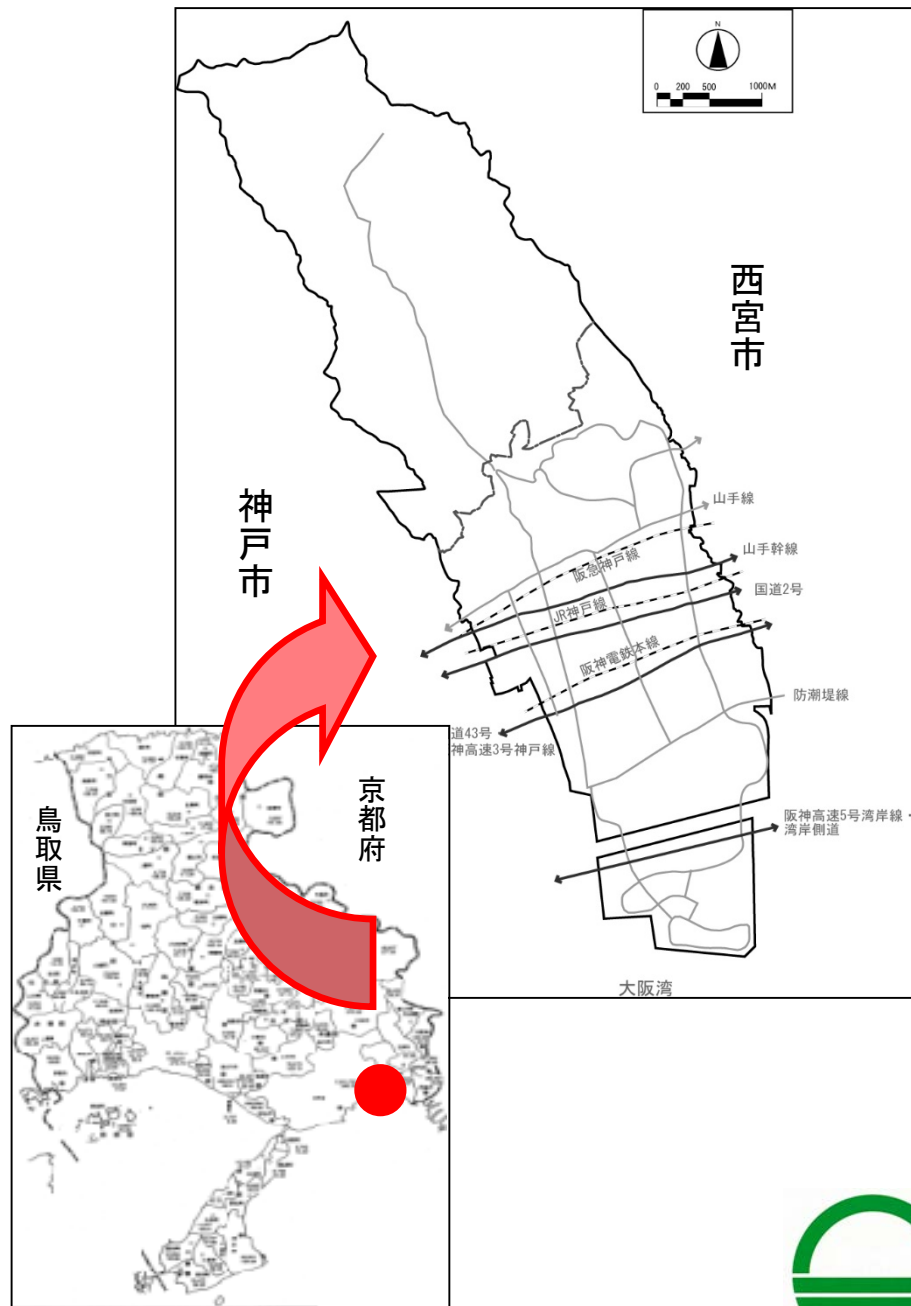
芦屋市の無電柱化

国際文化住宅都市芦屋

災害に強く、より美しいまちを目指して

芦屋市の紹介

人口 (H28.12.1現在)	96,318 人
面積	18.57 km ²
東西延長	約2.0 km
南北延長	約9.0 km
市道延長	209 km

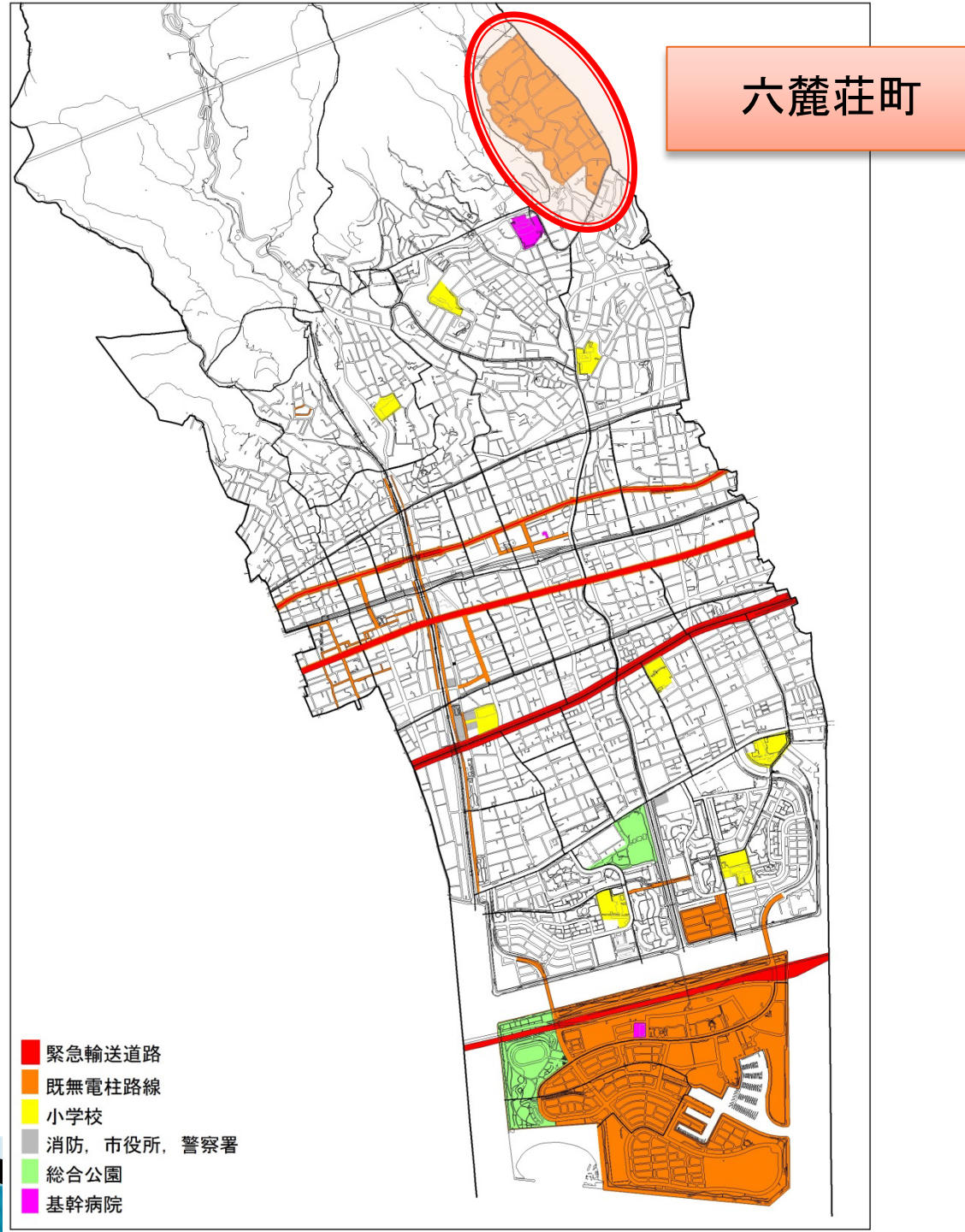


目標

日本初の無電線(柱)都市の実現へ



現状



六麓莊町



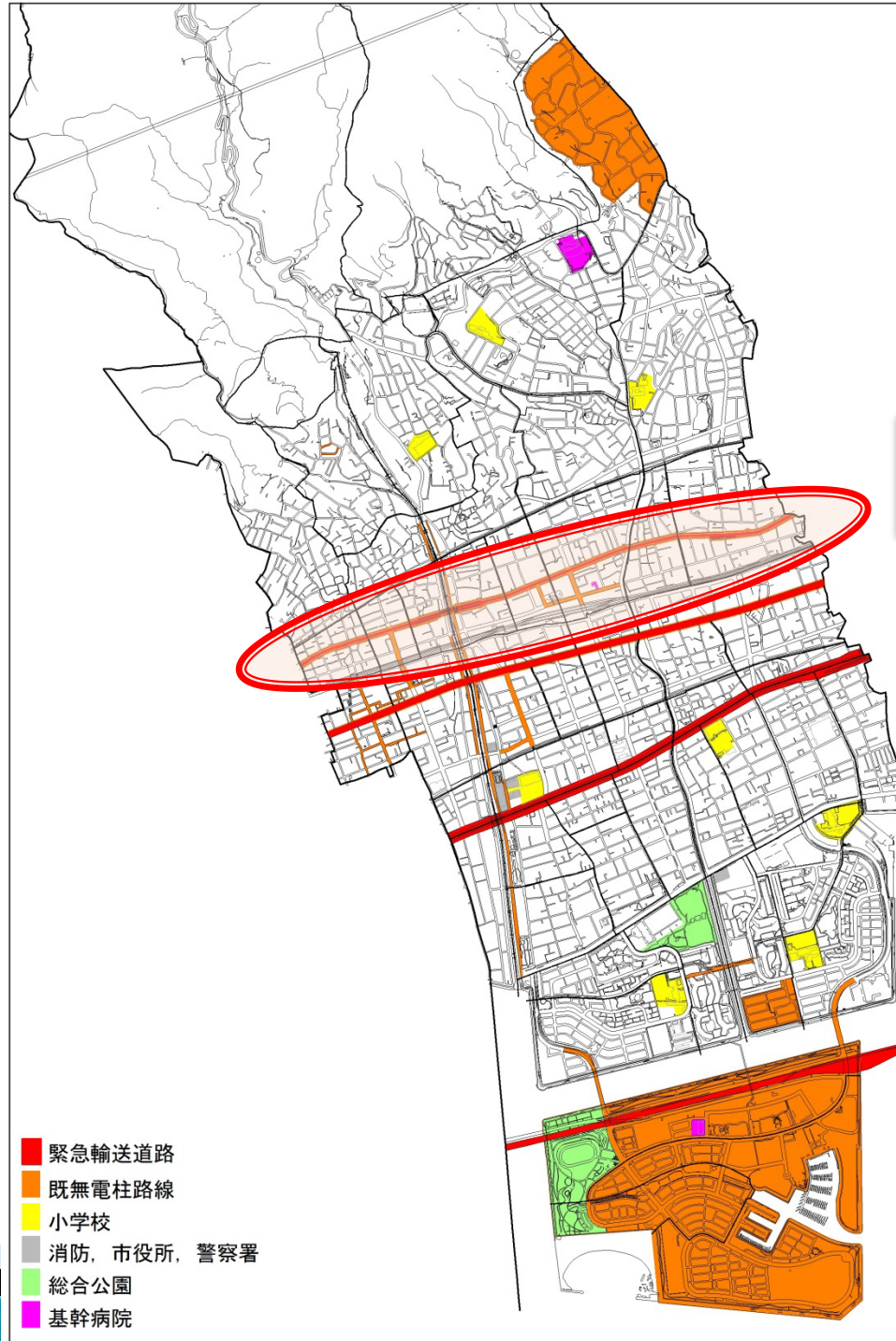
六麓莊町



六麓莊町



現状



山手幹線



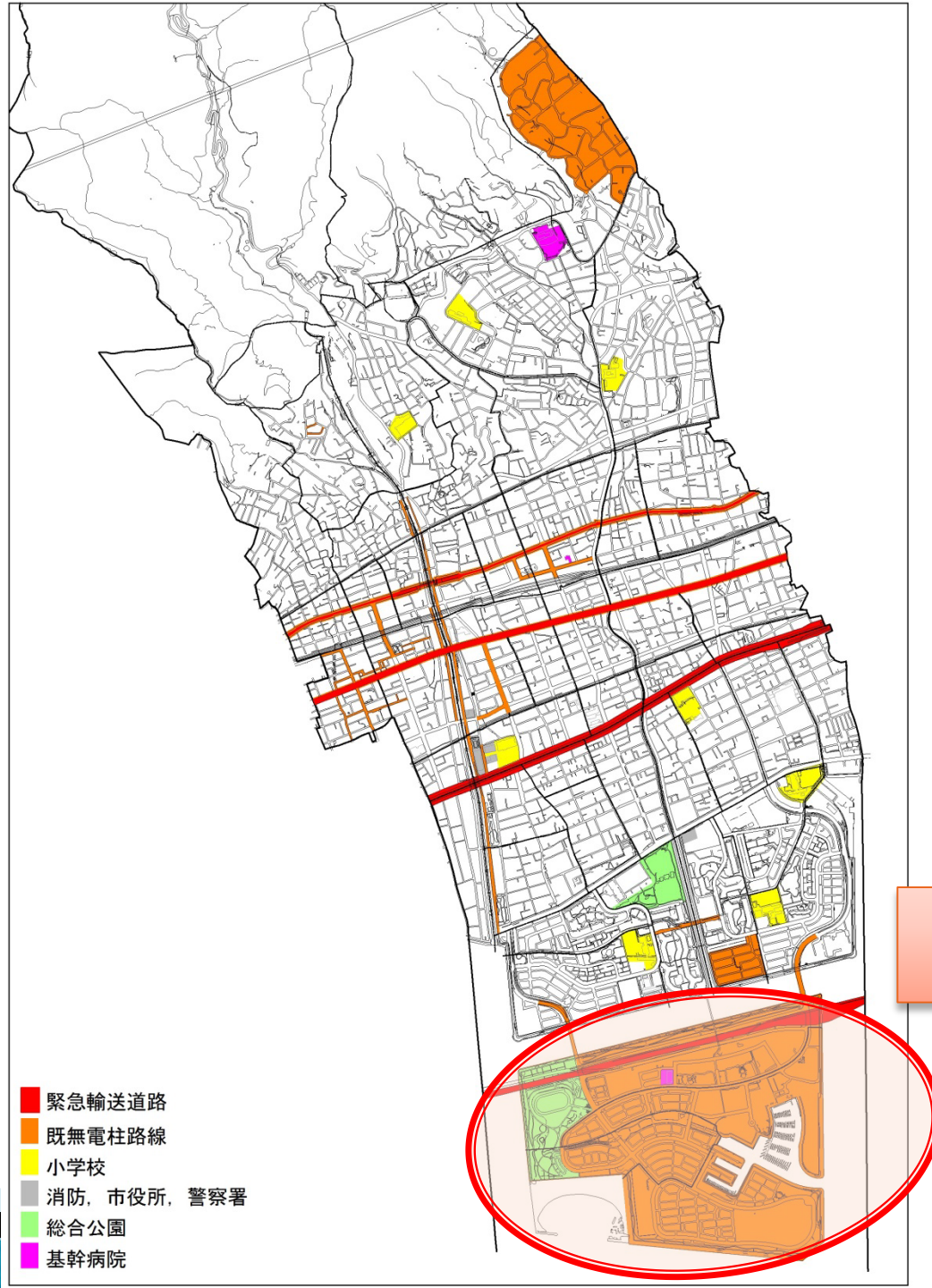
山手幹線



山手幹線



現状



南芦屋浜



南芦屋浜



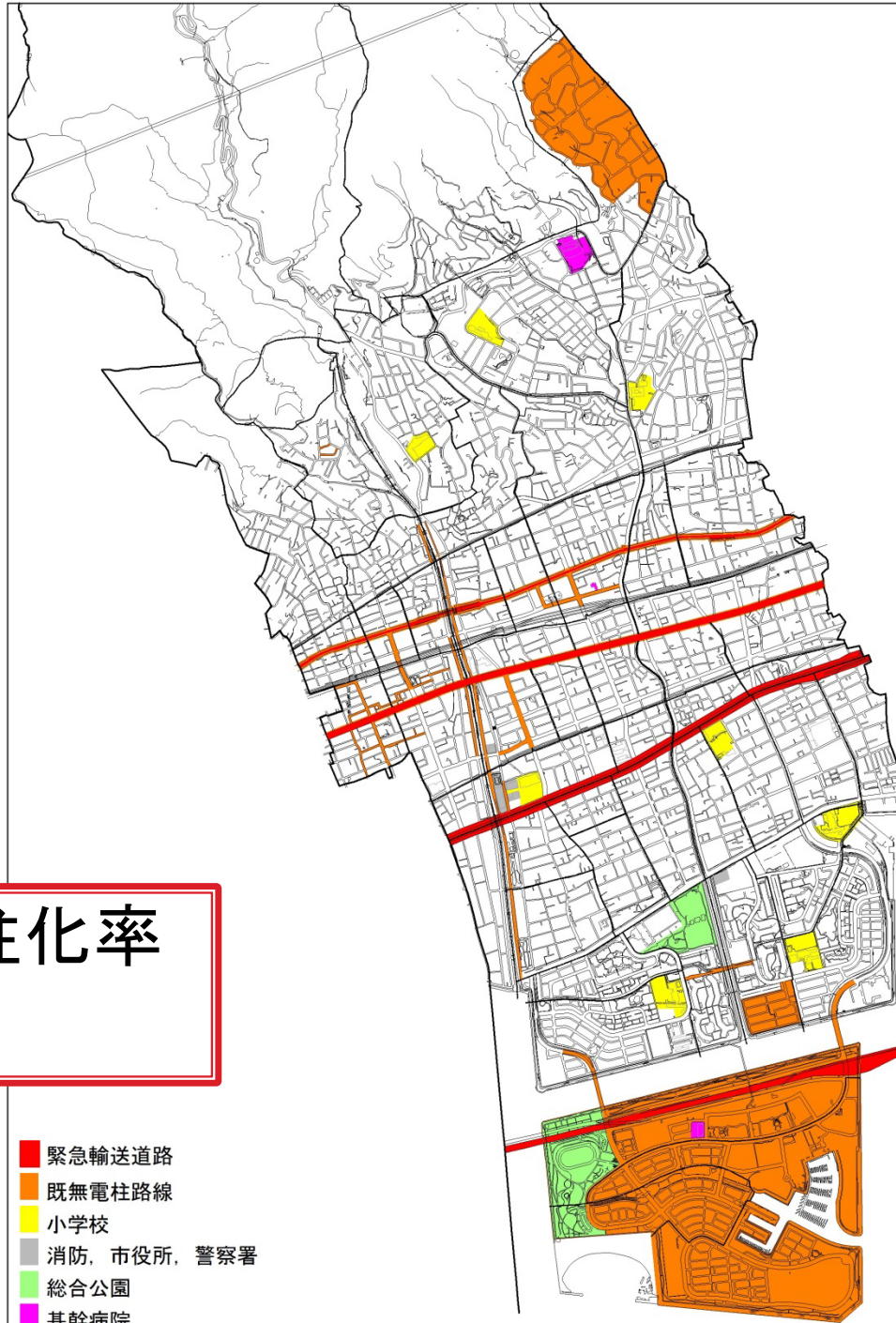
南芦屋浜



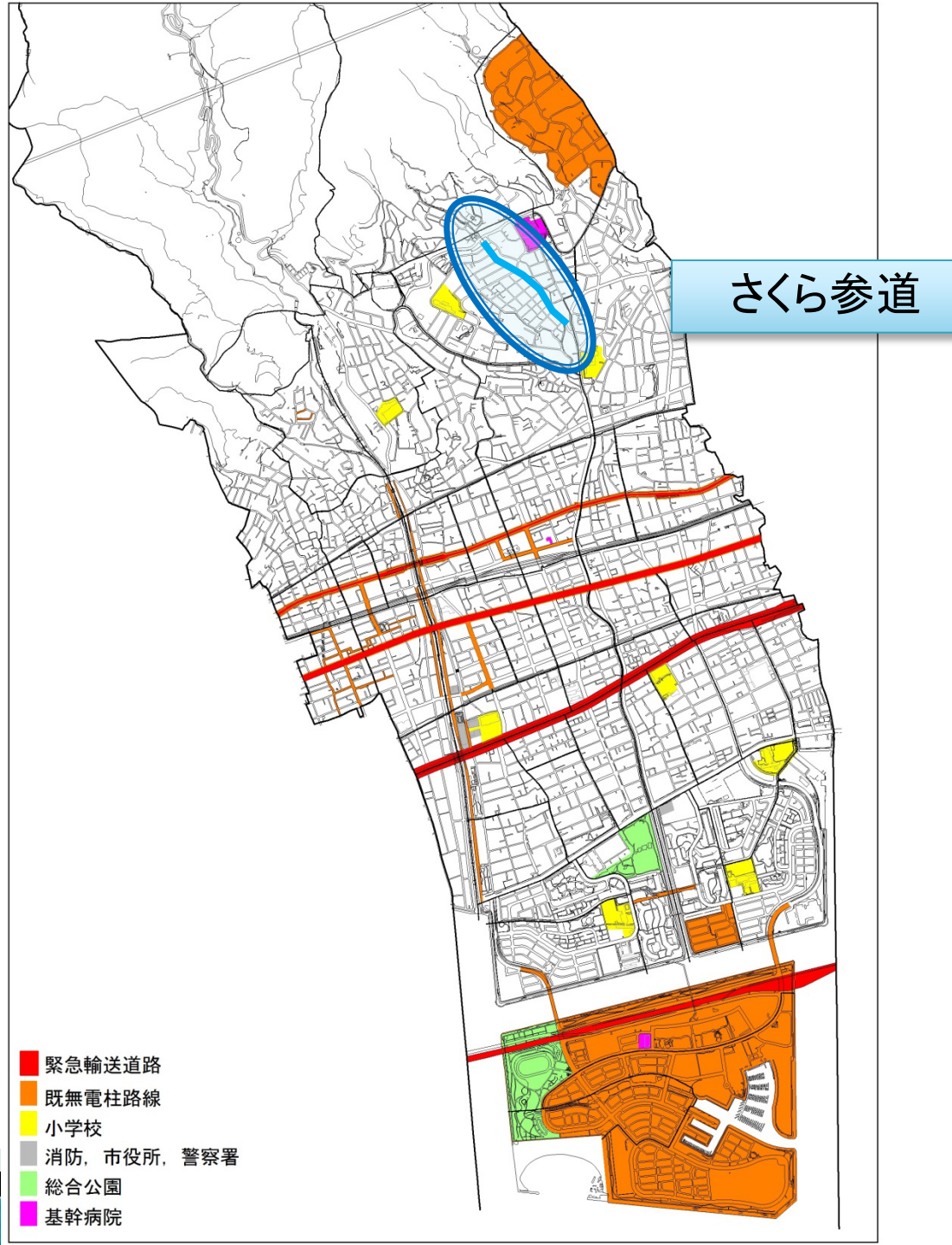
現状

市道の無電柱化率
12.4%

- 緊急輸送道路
- 既無電柱路線
- 小学校
- 消防, 市役所, 警察署
- 総合公園
- 基幹病院



現状



さくら参道



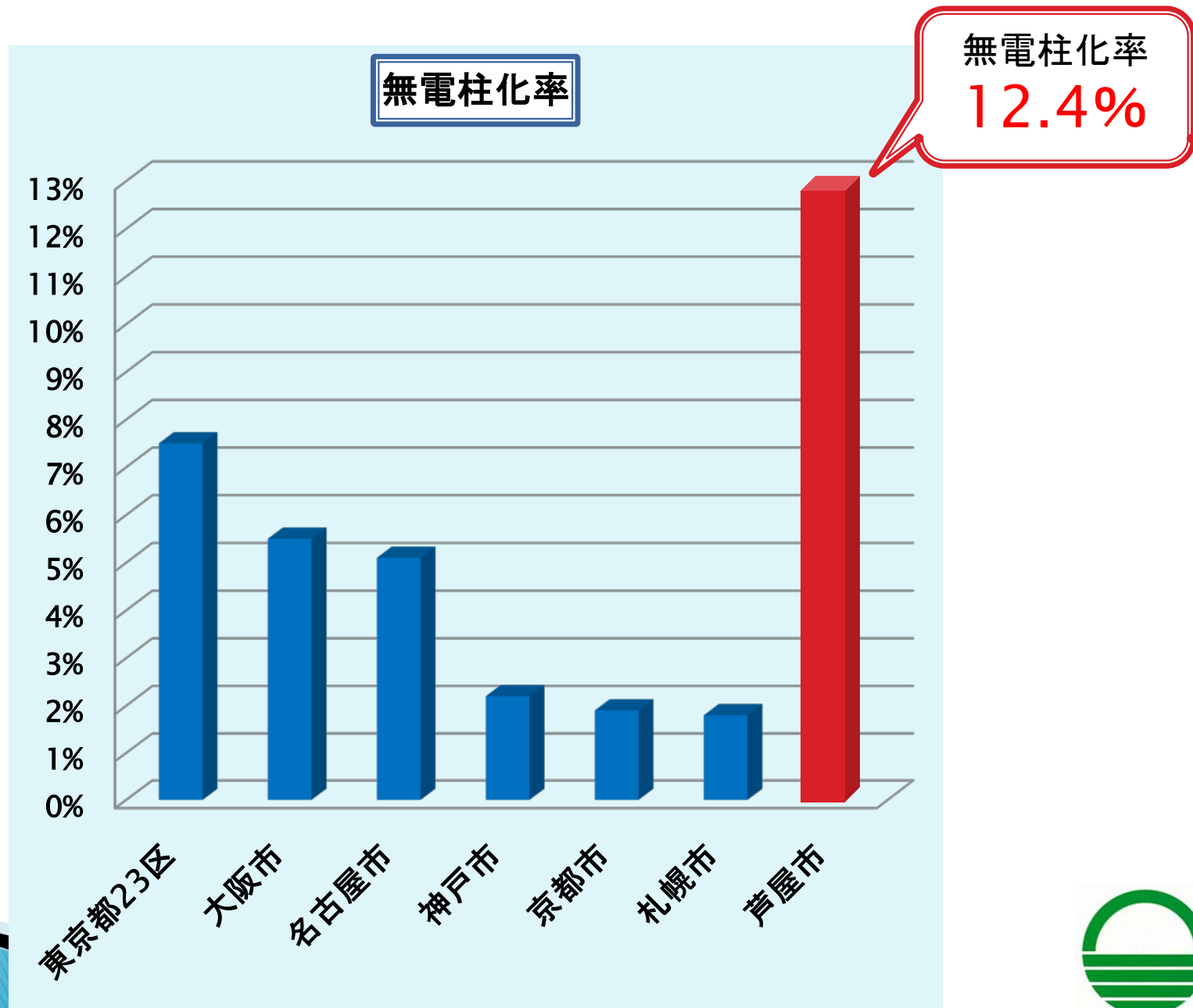
さくら参道(現況)



さくら参道(整備イメージ)



現状



当面

まずは...

都市計画道路などの**幹線道路**を無電柱化する

①防災面から

緊急輸送道路から、防災上重要な施設をつなぐ路線を「緊急輸送道路を補完するルート」として無電柱化を行う

②景観面から

芦屋市景観計画等による
芦屋川沿岸地区や宮川沿岸地区など

③地域創生から

地域の活性化を考慮して



①防災面から・・・

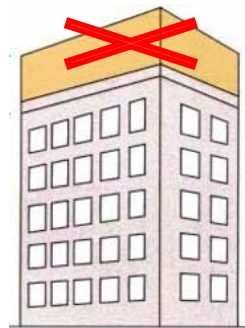
阪神・淡路大震災で倒壊した電柱



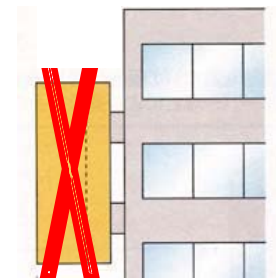
②景観面から・・・（無電柱化と併せて取り組む施策）

- ▶「日本一厳しい」芦屋市屋外広告物条例の施行（H28.7）

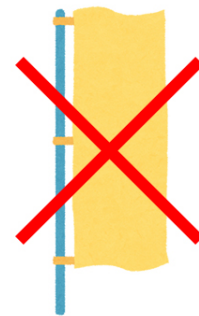
屋上利用の禁止



壁面突出の原則禁止



住宅地域における
のぼり旗禁止



今後

こんなことも...

- ▶ 自転車ネットワークの形成
- ▶ 道路の積極的な活用・・・歩行者天国など
- ▶ 歩道の積極的な活用・・・ベンチの設置など



課題

- ・地上機器の設置箇所について地元交渉が難航。
⇒地上機器の小型化又は地中化。
- ・電力事業者の費用負担が大きいため、無電柱化事業に消極的。
⇒補助金制度等の確立。
- ・既設地下埋設物が支障となり、移設費用が膨大。
⇒移設を各占有者負担に出来ないか。
⇒移設費用を捻出するため、補助率を上げられないか。



無電柱化推進法に対する期待

① 今後の技術的な進歩

(トランスの小型化,
電線の直接埋設, 送電技術等)

- ・法第5条 関係事業者の責務に技術開発が明記
- ・法第13条 調査研究, 技術開発等の推進が位置付け



② 建柱の抑制・撤去

(幹線道路, 開発区画の電柱又は電線の設置抑制・撤去
による無電柱化の推進)

- ・法第12条 関係事業者による電柱又は電線の設置の抑制及び撤去が明記



細街路も無電柱化を推進し,
日本の**無電線(柱)化**をけん引していく



今後の取り組み

- 推進計画を策定

- ⇒ 市の方向性を示すとともに、市民や事業者のコンセンサスを得る。

- 条例化の取り組み

- ⇒ 大規模開発時に電柱又は電線の設置の抑制を行い、無電柱化を推進

